

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Facs. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

秋でも暑熱対策を!

暑い日が続きますが、もうすぐ朝晩が過ごしやすい秋が訪れます。しかし、牛は夏だけでなく秋にも影響を受けます。

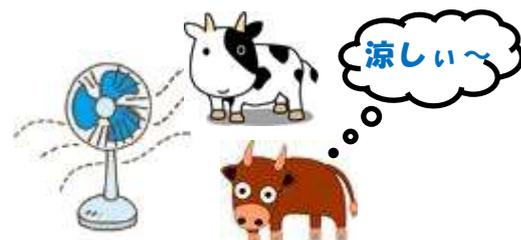
牛は、夏の疲れを引きずったまま秋に突入します。昼夜の気温差が大きくなり、体調を崩しやすい時期でもあります。

体力の低下が予想されることから、良い環境で飼養し体調を整えましょう。

ご存じのとおり、牛は日平均気温が21℃を越えると乾物摂取量が低下し、産乳量、増体量が減少します。それは、第一胃の発酵熱を下げ、自らの体温上昇を防ぐための生体防御反応のひとつです。乾物摂取量が少なくなると、第一胃内の環境が悪化し、生産性が低下するばかりでなく、疾病の発生にもつながります。

そこで、継続して暑熱対策を実施しましょう。

- 1 十分な給水
- 2 畜舎内換気
- 3 よしず等による日よけ
- 4 早朝、夜間の涼しい時間帯の給餌
- 5 ビタミン・ミネラル類の給与



牛は草食動物です。粗飼料をどうやって食べさせるかがポイントです。牛舎内、第一胃内の環境を整えましょう。

【当所の **グリーンカーテン**】



6月に種まきをしたアサガオが現在約4mの高さまで成長しました。要した経費と人員は(ネット4m×4m×3枚 約3千円、人員2人×2時間) 来年実施してみたいかがででしょうか。

【A酪農家の **よしず** の設置】



日差しが強い西側によしずが設置されていました。暑熱が軽減され畜舎内の作業もしやすい(農家談) 畜舎内には大型扇風機もありました。畜舎入り口道路には病原体侵入防止のための消石灰も散布されていました。

消毒は伝染病予防の第一歩

まずは踏み込み消毒槽を畜舎に置きましょう

